

被害防止計画目標評価報告書

1 対象地域及び実施期間

対象地域	三朝町
実施期間	令和2年度～令和4年度

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

(R2年度)

事業内容	対象鳥獣	事業量	管理主体	供用開始	事業効果
鳥獣被害防止施設	イノシシ	電気柵 L=3,050m ワイヤーメッシュ柵 L=2,535m	三朝町	R2.7.20 R3.3.15	3地区で侵入防止柵を設置した結果、設置個所での対象鳥獣の侵入を防ぎ農作物、農業設備の被害がなくなった。
有害捕獲	シカ イノシシ	成獣 483 頭 幼獣 24 頭 計 507 頭 成獣 127 頭 幼獣 2 頭 計 129 頭	三朝町		対象鳥獣の有害捕獲を実施した結果、シカ 507 頭(前年比 249%) 捕獲し、鳥獣の生息頭数が増加する中、捕獲による農作物、農業設備の被害の減少に繋がった。

(R3年度)

事業内容	対象鳥獣	事業量	管理主体	供用開始	事業効果
鳥獣被害防止施設 (R3当初)	イノシシ、シカ	電気柵 L=9,050m	三朝町	R4.3.28	1地区で侵入防止柵を設置した結果、設置個所での対象鳥獣の侵入を防ぎ農作物、農業設備の被害がなくなった。
有害捕獲	シカ	成獣 650 頭 幼獣 24 頭	三朝町		対象鳥獣の有害捕獲を実施した結果、シ

		計 674 頭			カ 674 頭(前年比 133%) 捕獲し、鳥獣の生息頭数が増加する中、捕獲による農作物、農業設備の被害の減少に繋がった。
鳥獣被害防止施設 (R 2 繰越)	イノシシ	電気柵 L=8,900m ワイヤーメッシュ柵 L=4,000	三朝町	R3. 8. 29 R4. 3. 23	3 地区で侵入防止柵を設置した結果、設置個所での対象鳥獣の侵入を防ぎ農作物、農業設備の被害がなくなった。

(R 4 年度)

事業内容	対象鳥獣	事業量	管理主体	供用開始	事業効果
有害捕獲	イノシシ シカ	成獣 259 頭 幼獣 31 頭 計 290 頭 成獣 842 頭 幼獣 15 頭 計 857 頭	三朝町		対象鳥獣の有害捕獲を実施した結果、シカ 857 頭(前年比 127%) 捕獲し、鳥獣の生息頭数が増加する中、捕獲による農作物、農業設備の被害の減少に繋がった。
鳥獣被害防止施設 (R 3 繰越)	イノシシ、シカ	電気柵 L=4,530m ワイヤーメッシュ柵 L=4,050m	三朝町	R4. 8. 29 R5. 3. 29	3 地区で侵入防止柵を設置した結果、設置個所での対象鳥獣の侵入を防ぎ農作物、農業設備の被害がなくなった。

3 被害防止計画目標の達成状況

被害防止計画目標	基準年(年度)の実績値(A)	目標値(B)	目標年(年度)の実績値(C)	達成率(%) (A-C)/(A-B)	備考
イノシシによる被害の減少(被害金額)	7,875 千円	5,513 千円	4,737 千円	133%	
イノシシによる被害の	626a	438a	435a	102%	

減少（被害面積）					
----------	--	--	--	--	--

4 総合評価

捕獲事業と防護柵等の設置を行った結果、捕獲頭数がシカ R2 年度 507 頭から R4 年度 857 頭へ、イノシシ R2 年度 129 頭から R4 年度 290 頭へ増加するなどにより、被害額の減少など目標を達成できた。しかしながら農家の方の実感として対象鳥獣の増加を訴える声が依然として多い。今後も同様の対策を継続していくが、農家の高齢化や人口減少など、対策を継続していくための課題が多くある。

5 第三者の意見

三朝町農業委員会 会長 山本雅之

イノシシ捕獲頭数は近年減少しているが、被害金額、被害面積とも目標達成するなど個体数を減らす対策はできているが、一方でシカによる被害も増えている。

今後は被害を受けた農家の意欲低下や侵入防止策の設置・維持・管理を継続していくところが負担となっている集落があるなど今後の課題も多くあるため、従来からの対策に加えて新たな支援の必要性も感じている。

- (注) 1 被害防止計画目標の達成状況が低調である場合は、実施要領別記 1 の第 6 の 2 の (1) 及び (2) に基づき実施要領 (別記 1) 別記様式第 4 号の改善計画を作成し、知事に提出すること。
- 2 2 の事業効果には、実施要領 (別記 1) 別記様式第 8 号を参考に事業の実施により発現した効果を幅広く定量的に記入すること。なお、処理加工施設又は捕獲技術高度化施設を整備した場合は、当該施設の利用率も記入すること。
- 3 4 の総合評価のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由も記入すること。
- 4 鳥獣被害防止施設の整備を行った場合には、侵入防止柵設置後のほ場ごとの鳥獣被害の状況並びに侵入防止柵の設置及び維持管理の状況について、地区名、侵入防止柵の種類、設置距離、事業費、国費、被害金額、被害面積、被害量、被害が生じた場合の要因と対応策、設置に係る指導内容、維持管理方法、維持管理状況等を別紙に具体的に記載し、添付すること。